

サラリーマン 金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

6

金太郎、譲らず



サラリーマン 金太郎

本宮ひろ志

Motomiya Hiroshi

6

金太郎、譲らず





伊郷副支社長



黒川優作社長



矢島金太郎



山金幸四郎



青葉高子

【前巻までのあらすじ】

●……サラリーマンになるため、漁師をやめて上京してきた一人の男——その名を“矢島金太郎”という。亡き妻、明美の忘れ形見・竜太を背負い、一流企業「ヤマト建設」にやってきた。しかしこの男、元は暴走族「八州連合」の頭（ヘッド）という型破りな経歴の持ち主。ヤマト建設会長・大和守之助を救ったのがきっかけで、中途仮採用されたのだった。その頃、社内では、創業者・大和会長派と天下り官僚・大島社長派の権力争いが激化。定時取締役員会で大島は解任され、黒川専務が新社長に就任する。大和会長に全幅の信頼を寄せる金太郎は、熱意を認められ、ついに正社員に採用されることになった。

そんな折、金太郎は荒船山（こうせんざん）トンネル工事現場に派遣される。トラブルが多発する、いわく付きの現場だ。着任早々、工事を請け負う一ツ橋土木と対立した金太郎だが、ようやく和解にこぎつけた。突貫工事が始まった直後、山はね事故が発生。しかし、まっ先に坑内に飛び込んだ金太郎の陣頭指揮により、被害は最小限にとどまり、無事に工事は完了した。

ある日、裏社会の金を仕切る老婆・中村と知り合った金太郎は、彼女の家で社内のライバル鷹司と顔を合わせる。金太郎の人脈と人徳を妬んだ鷹司は、暴走車で金太郎を狙う。幸い軽傷で済んだ金太郎の周りには、驚くほど多くの人間が駆けつけ、“男のキャリア”のすごさを見せつけた。そして傷癒えた金太郎は、赴任先の東北支社へと出発した。

サラリーマン
金太郎

6

金太郎、譲らず

【目次】



第38話 ● 金太郎、転勤する。

第39話 ● 東北^{とうほく}支社副支社長

第40話 ● 金太郎、営業する。

第41話 ● 金太郎、談合する。

第42話 ● 金太郎、孤立する。

【登場人物】

矢島金太郎〈やしま・きんたろう〉……………ヤマト建設東北支社営業部社員・本作の主人公

矢島竜太〈やじまりゅうた〉……………金太郎の長男

大和守之助〈やまと・もりのすけ〉……………ヤマト建設創業者・現会長

黒川優作〈くろかわ・ゆうさく〉……………ヤマト建設代表取締役社長

伊郷龍蔵〈いこう・りゅうぞう〉……………ヤマト建設東北支社副支社長

青葉高子〈あおば・たかこ〉……………ヤマト建設東北支社営業部社員

山金幸四郎〈やまかね・こうしろう〉……………民主自由党代議士

倉本一郎〈くらもと・いちろう〉……………北東総合建設社長・元河北市助役

半田司郎〈はんだ・しろう〉……………河北市役所企画課長

末永美鈴〈すえなが・みすず〉……………政財界の大物が集まる一流クラブのママ

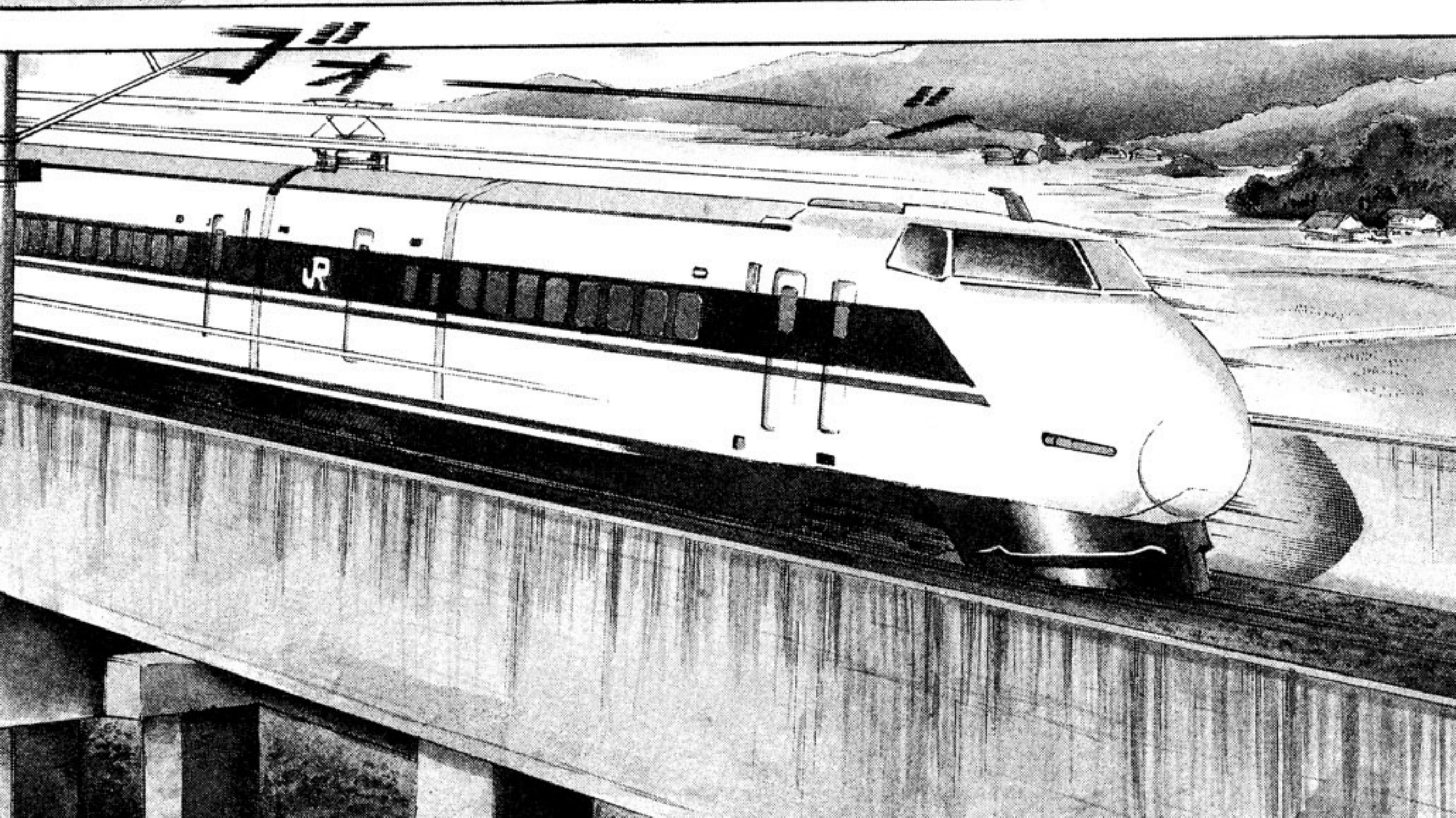
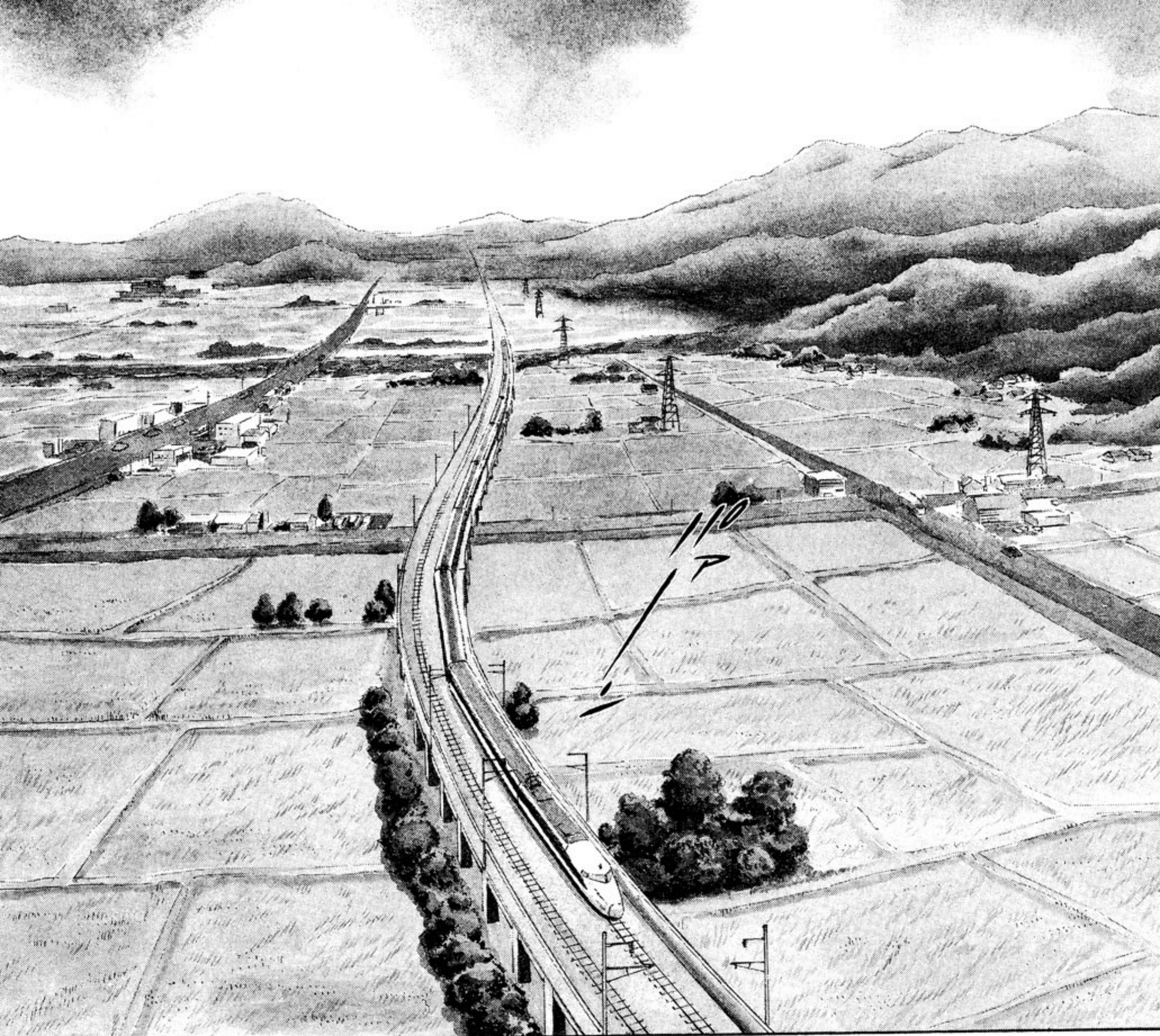
末永美々〈すえなが・みみ〉……………美鈴のひとり娘・人気タレント

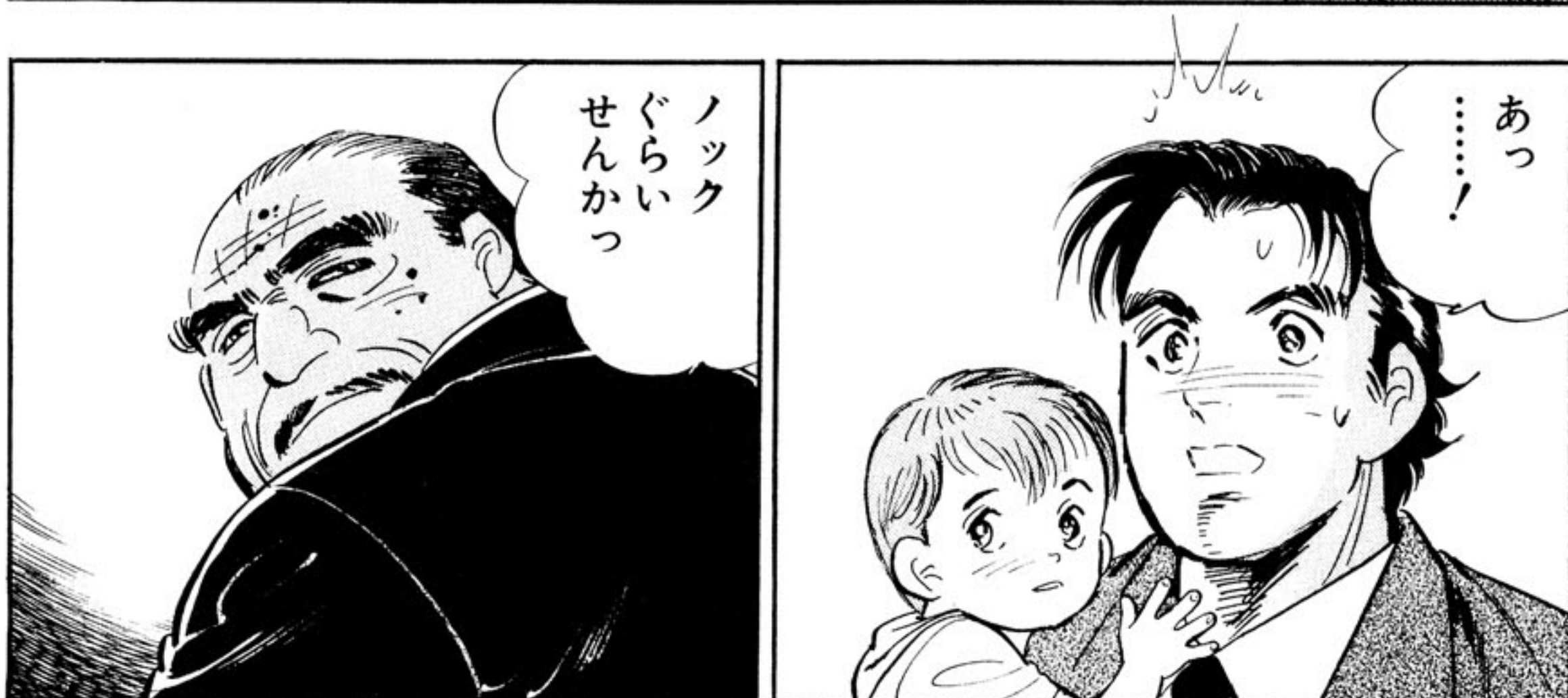
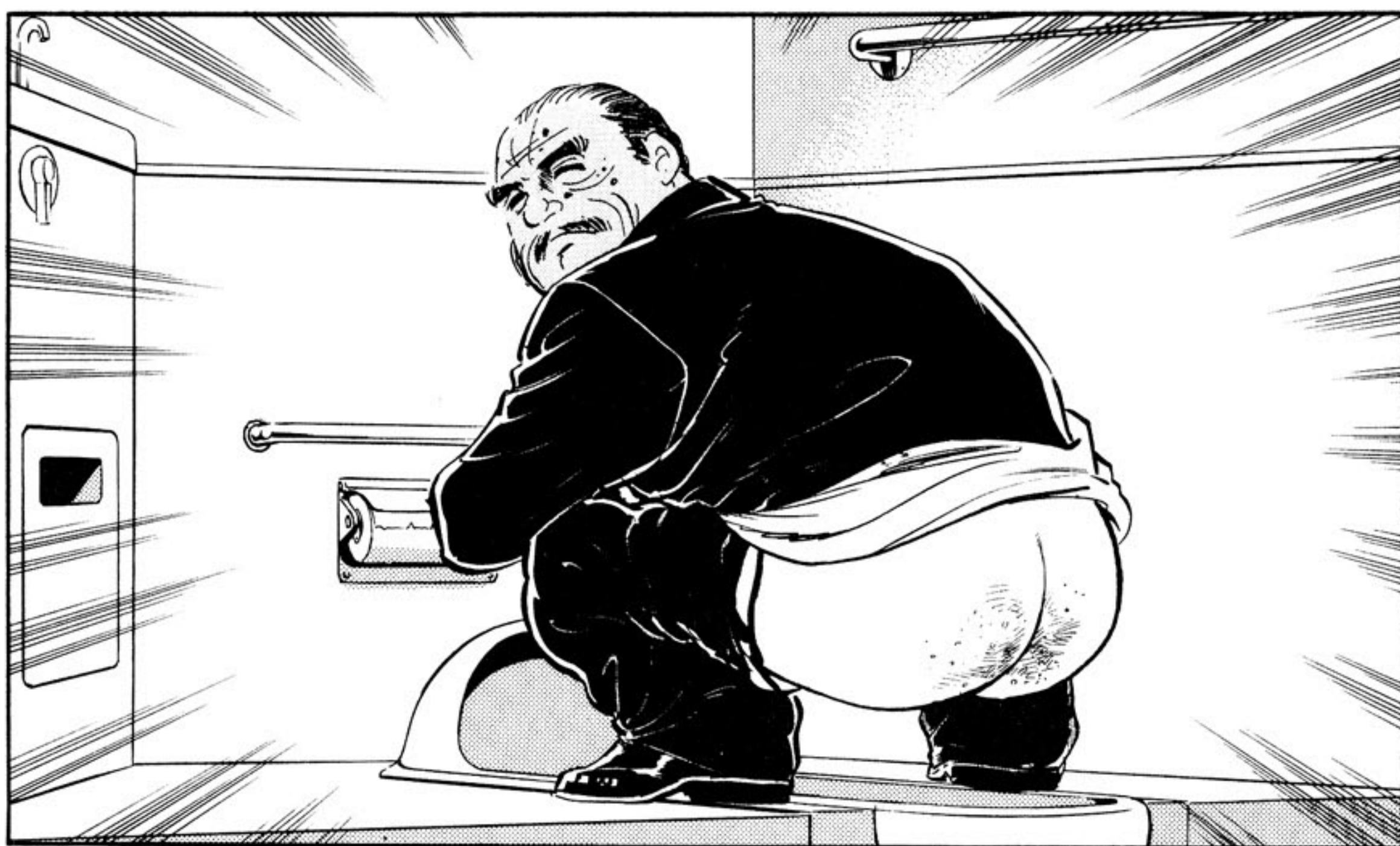
江沢有希〈えざわ・ゆき〉……………大和守之助会長の孫

第38話



金太郎、転勤する。





すみません
でした

いいから

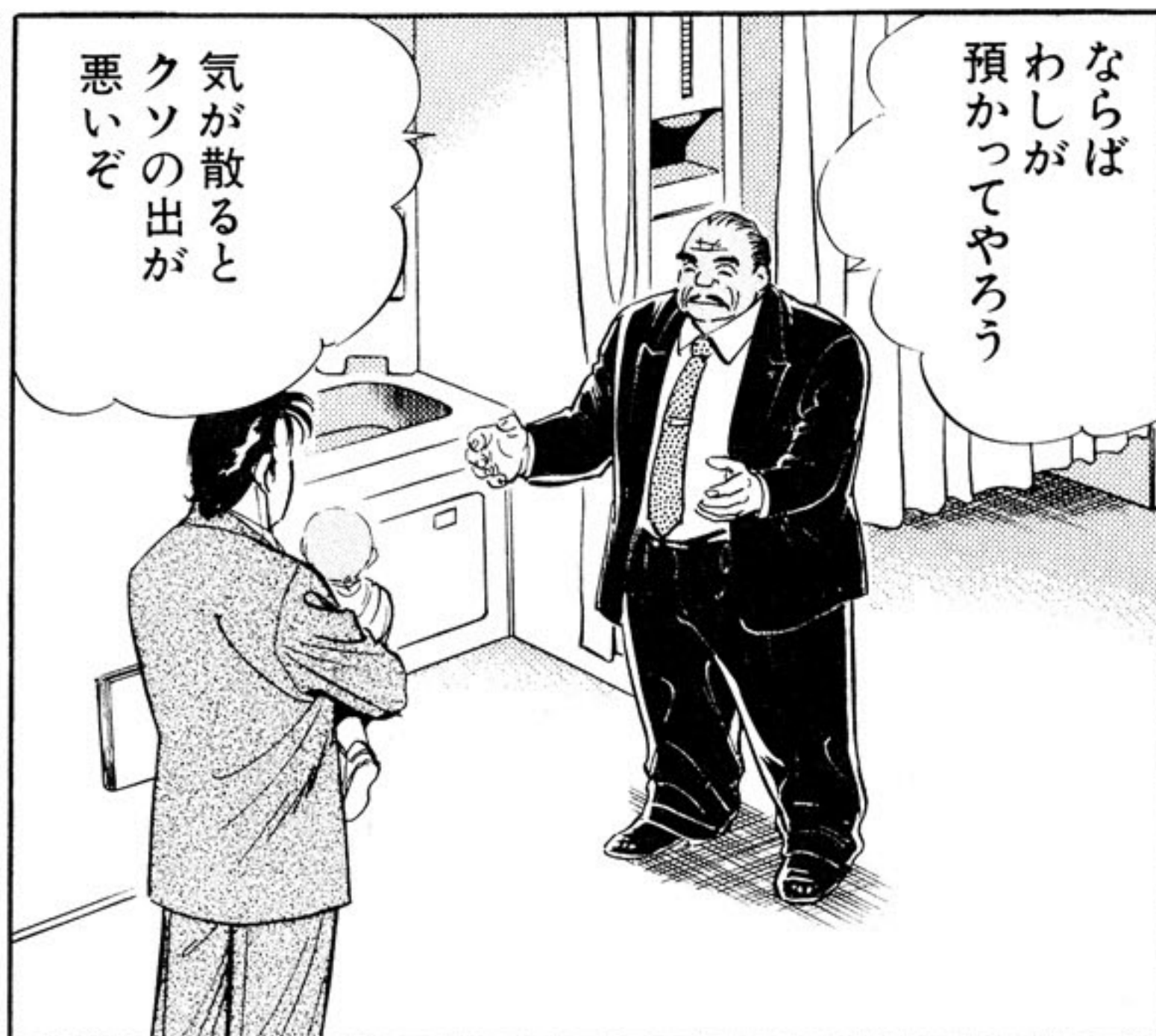
早よう
閉めんかい

びっくり
したね
パパ

きったねえ
ケツだったね
パパ……

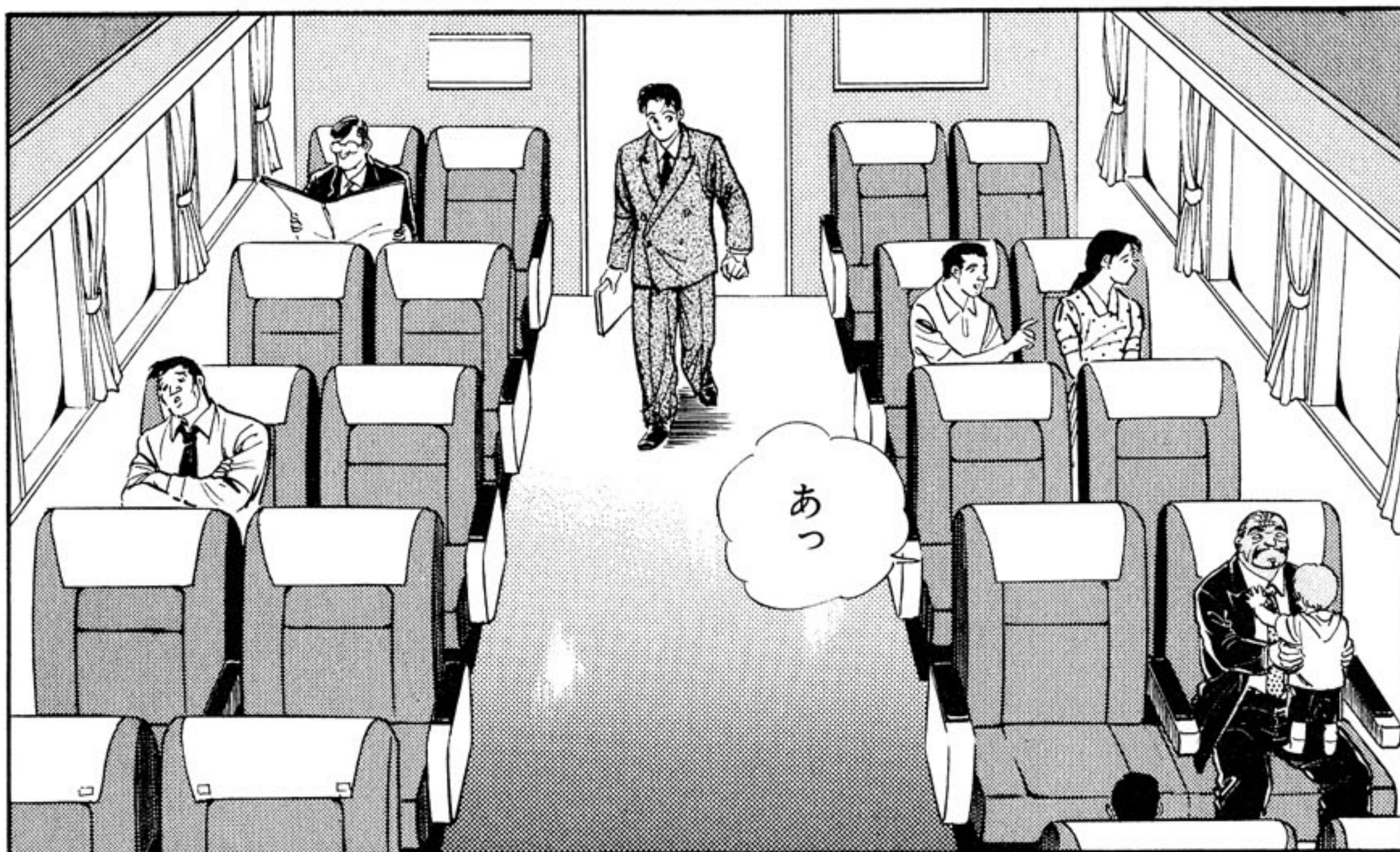
うんこ
かね……？

サラリーマン金太郎⑥

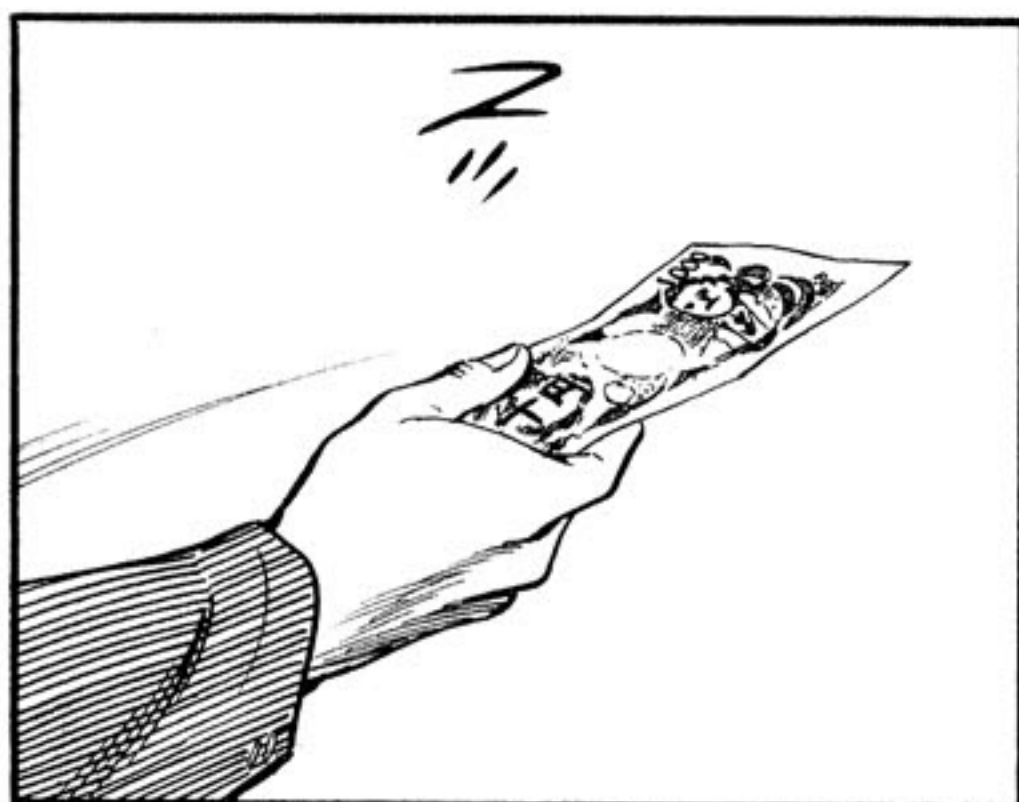
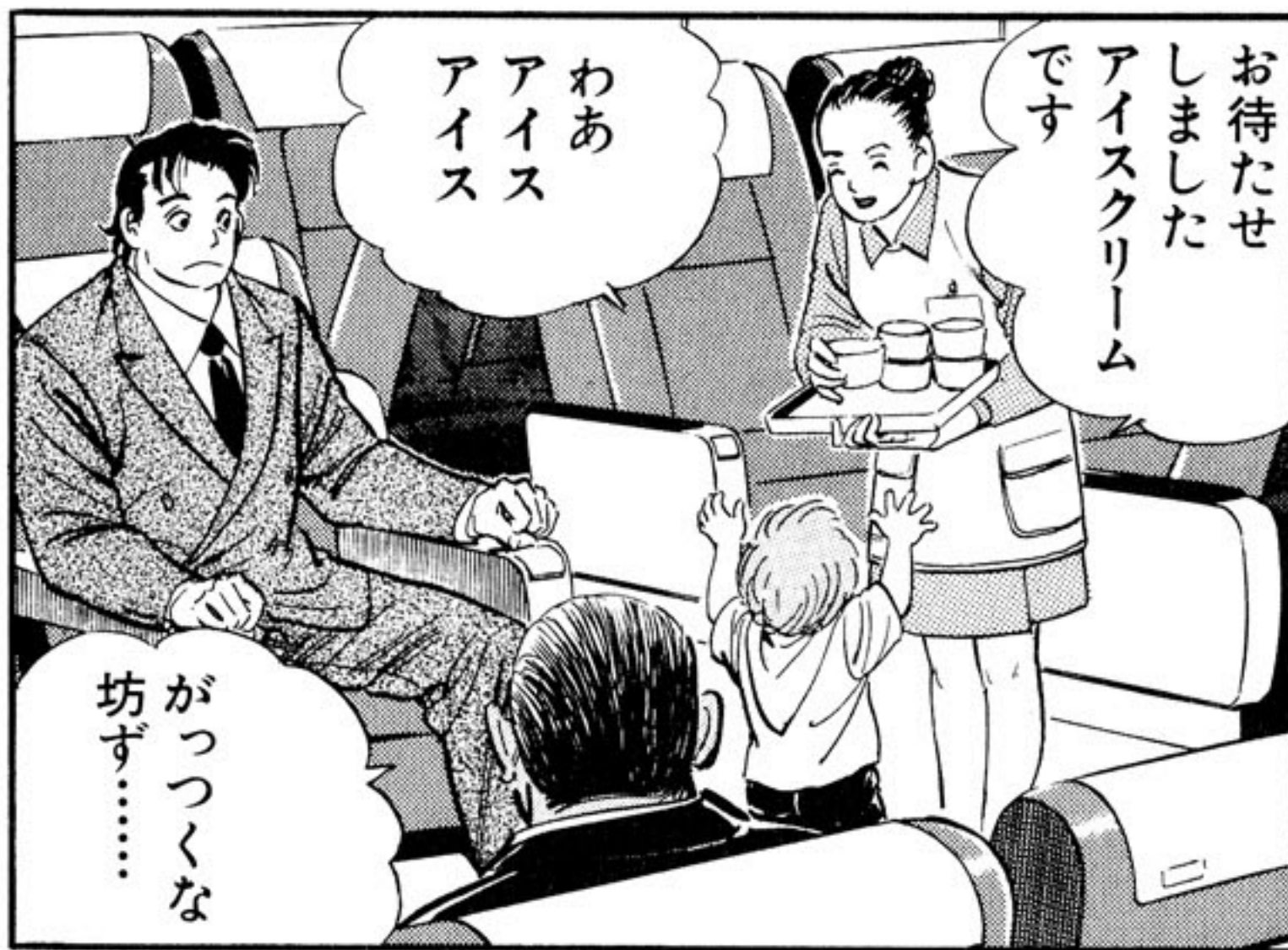












サラリーマン金太郎⑥



日本人は
モンゴリアン
だ……

はっ
……？

もともとは
大陸にいた

もつといい所は
ないか……
素晴らしい土地は
ないかと
探し求め……

この東の
とつばずれの
島まで
渡ってきた

……という事ならば
日本人の先祖は
冒険心あふれた
強い民族だ……

しかし
……

ある所に定住し
畑を耕している所を
追い出され……
また次に住みついた
所を追い出され
東の島まで
逃げてきた

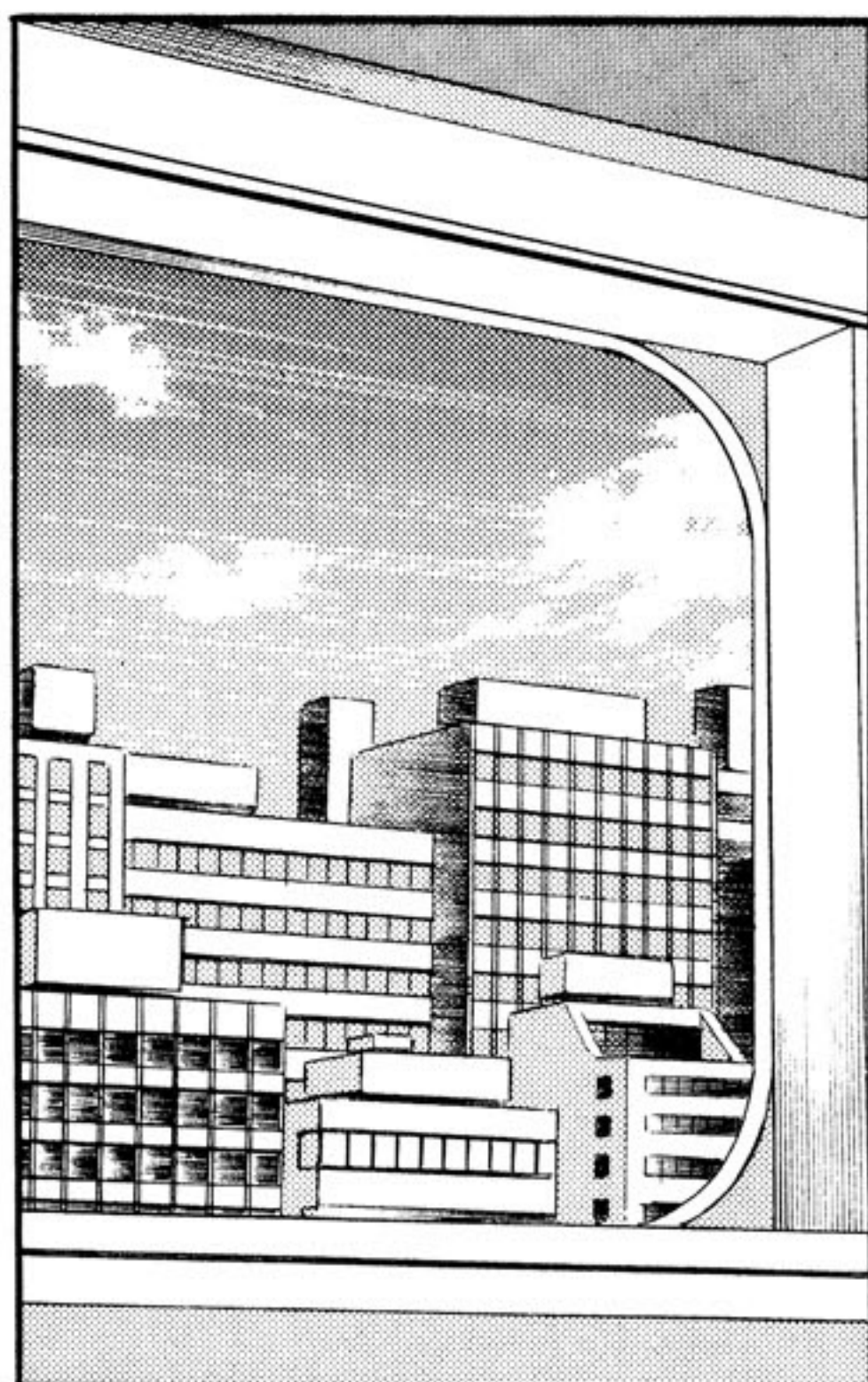
それが
日本人の先祖で
あったなら

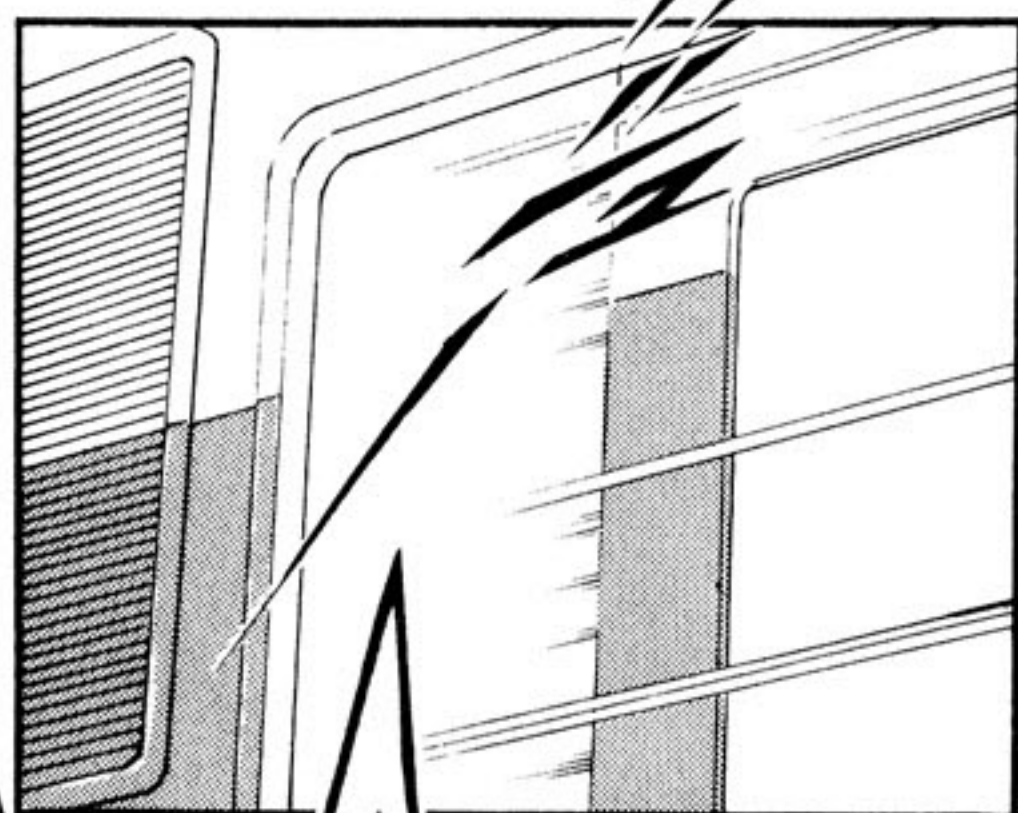
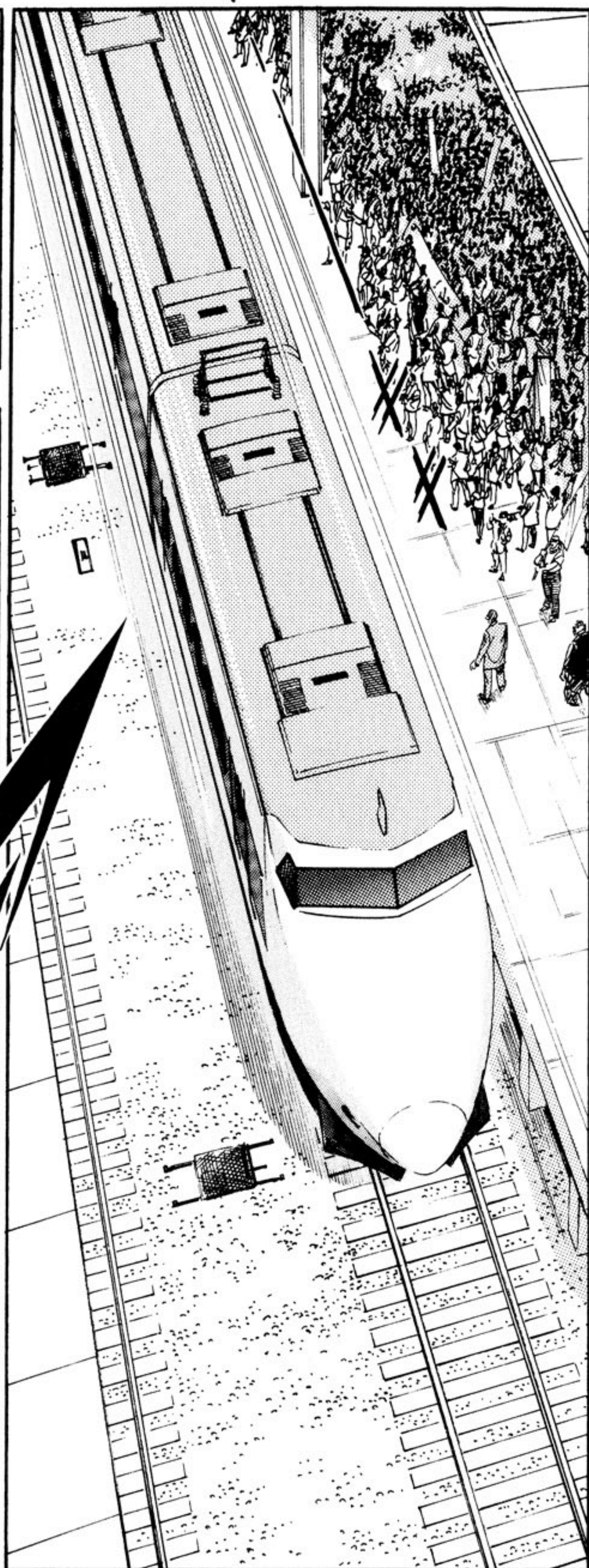
気の小さい
弱い民族の
集まりだな

はあ

残念
ながら……

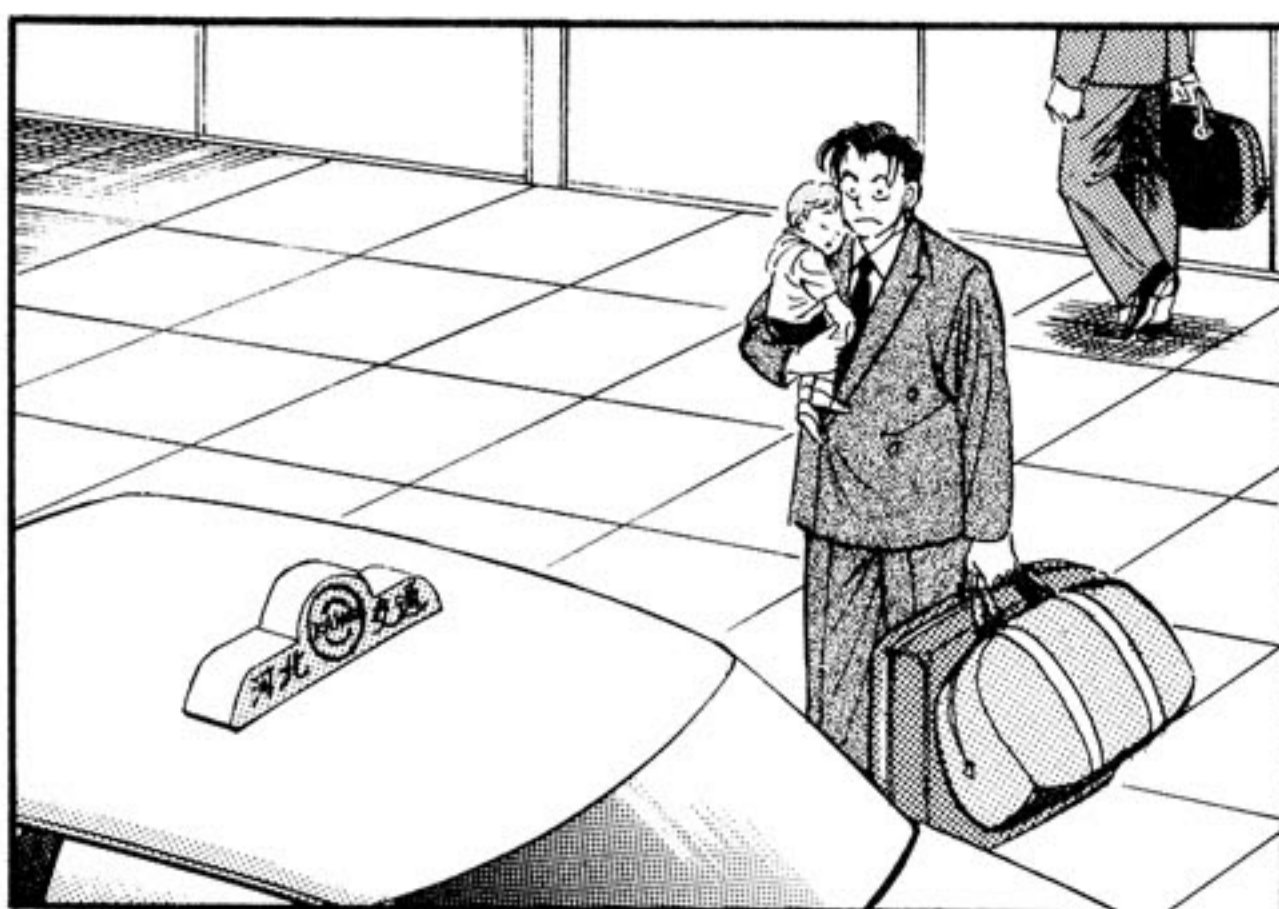








サラリーマン金太郎⑥



ケツの穴
見せても
腹の中は見せねえ
タイプだな...

政治家か
.....



ヤマト建設
東北支社



